



埼玉県越谷市 K 邸



K邸／オリジナルレンガの3色の組み合わせが、庭に豊かな表情を広げています。リビングの前面にバーベキューコーナーを設け、道路から室内が見えない高さにレンガを積むなど、細かい配慮も。



係長(設計担当)
伊東 穂高氏



係長(営業担当)
野上 桂一氏

ボラスガーデナーズ 株式会社

埼玉県越谷市

限られたスペースを生かす 魅力的なデザインを工夫

わが社は中央住宅から責任ある生産体制を確立することを目指し、設立された関連会社で、中央住宅が手がける分譲住宅や注文住宅の外構工事が中心です。そのため、物件の地形や基礎工事の状況が正しく把握できるのでトラブルが少なく、建物本体と同時にエクステリアを設計するケースも多いので、建物にマッチしたソーニングやデザインができる利点があります。最近、「御庭番」を導入し、パース作成と見積り計算の効率がアップしたので、よりよいプレゼンテーションができるよう、さらに活用していく考えです。分譲住宅では、その土地の環境や性格に合わせたエクステリアを造ることが第一ですが、エクステリアは街並みの一部ですから、どのケースも景観を重視しています。3カ月に一度、全社員投票によるグループ内の施工例デザインコンテストを行っているのもその一環で、時代の流れや好みなどを認識して、デザインに反映させています。

注文住宅の場合は、お客様の要望に対応すると同時に、日照や隣家との関係を考慮して、必要な装いや植物の選び方などをアドバイスすることも重要です。また、設計は、エクステリアを植栽と一体の生き物と考え、やりすぎないようにデザインのポイントを絞ること、そして、住み手の個性を生かす仕掛けづくりや全体の調和などに留意しています。

今回、「ガーデンヴァール」プランニングコンテストで受賞した2作も、以上の内容を考慮したプランです。フロントヤードでは、アールを取り入れたデザインで全体をまとめ、人の目を惹きつけるフォーカルポイントを造りました。狭いアプローチのボーダーヤードでは、地面の仕上げをウェーブ状にして、導線は直線でも視覚的にリズム感をつけ、直線と直線がぶつかる角の部分の足元に円形の花壇を造って印象を和らげるなどの工夫をしています。わが社が手がけるエリアは、埼玉、千葉、東京の一部で、平均的な敷地の広さは30~40坪…エクステリアのスペースも限られる場合が多いので、今後も空間を最大限に生かす魅力的なデザインを心がけていきたいと思っています。



埼玉県越谷市 M邸

植栽スペースとアーチを配して、イキイキとした空間に仕上げた細長いアプローチ。隣家との境にはウッドスクリーンを立てて目隠しに。ベントしたグリーンの色が草花と優しく調和しています。



◀ 周囲の家々が入り組んでいるため、アプローチに番地がペイピングされています。